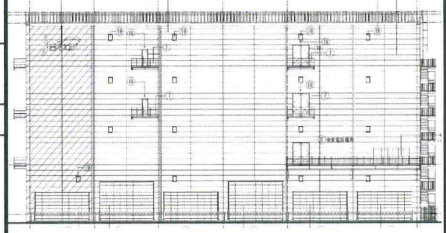


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市西向島計画	階数	地上4F
建設地	兵庫県尼崎市西向島町145番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年9月20日
敷地面積	6,612 m ²	作成者	青木あすなろ建設(株)
建築面積	3,552 m ²	確認日	2021年9月21日
延床面積	13,669 m ²	確認者	青木あすなろ建設(株)



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス性能への配慮。 敷地内外環境への配慮。 資源マテリアルの確保に努めている。 	<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価対象外 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調換気設備に防振吊金物採用 床:長尺塩ビシート20年、壁:石膏ボード30年、天井:石膏ボード30年 給水管:VLP、排水管:VP、通気管:VP
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動水栓に加え、節水型便器の採用 リサイクル材を活用 OAフロア採用 有害物質を含まない防水プライマー採用 押出法がリサイクルフォーム、グラスウールを採用
	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地、高木の設置 景観計画を満たす
	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス設備設置無し フェイクリストの過半を満たす、広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される